



加藤敏彦 議員

佐織中学校のくい工事偽装の内容は

問 佐織中学校のくい工事で、旭化成建材の偽装が報道された。どのような内容か、どう対処するか。

総務部長 くい工事は、全体で230本のくいが打たれ、そのうち改ざんなどについては15本である。

建築物の安全性を確認する方法などについては、愛知県の建築指導課及び施工業者と協議したうえで、必要な対応をしていく。12月中下旬にボーリング調査を予定している。

支所の整備どうなっているか

問 鬼怒川の決壊により、常総市役所本庁舎も浸水し孤立した。愛西市の市役所も、日光川などが決壊すれば、浸水・孤立する。支所に第2災害対策本部を設置するべきだと考える。市の考えはどうか。

総務部長

日光川などが決壊した場合、市役所周辺は0.5m〜1.0m冠水する。統合庁舎が使用不能な場合に、水害の可能性が低い八開庁舎を、今後代替施設として検討していきたい。

問 支所の整備の現状はどうなっているか。

総務部長 立田庁舎は、支所として活用を図る2期増築棟の健全度調査及び耐震診断業務を行っている。

八開庁舎は、公共施設マネジメント検討部会により、公共施設の再編の考え方や利活用の検討を進めている。

佐織庁舎は、3期増築棟の健全度調査及び実施設計業務を行っている。平成28年度に支所整備工事、29年度から支所として全面供用を予定している。地域包括支援サブセンターは、2階に配置する。確定申告については、小さくなるが2階の会議室の活用を考慮することができる。支所のエレベーターについては設置しない。



ふるさと納税への取り組み強化を

問 自主財源の確保のため、市も、さらなる広告事業拡大に向けて全庁的な取り組みが必要かと思う方が方は。また全国自治体の半数程度が導入していると言われている官公庁オークションは、自主財源確保の有力手段と言える。導入を判断すべき時期が来ているかと思うが。

総務部長 職員の意識改革を行い、新たな財源確保への取り組みについて、先進地を参考にしながら全庁的に行いたい。インターネット公売も有効な一つの手段として活用していきたい。

問 平成26年度、市のふるさと納税赤字額は94万2千円。本場に深刻な状況に気づいてほしい。緊急に対策と行動が必要であると思うが考えは。

副市長 これは極めて衝撃的であり、深刻な事態だと受けとめている。提案のあったふるさと応援寄付金の返礼品の選定についても、職員制度などを活用し、市を挙げて早急に取り組み。魅力あふれる特産品を厳選し、PR展開したい。

ふるさと納税寄付額の
上位10自治体

平成26年12月現在

①平戸市(長崎県)	102,420
②玄海町(佐賀県)	87,420
③上士幌市(北海道)	82,880
④綾町(宮城県)	71,000
⑤浜田市(島根県)	54,200
⑥天童市(山形市)	42,000
⑦米子市(鳥取県)	41,280
⑧境港市(鳥取県)	36,430
⑨都城市(宮崎県)	35,920
⑩小城市(佐賀県)	35,560

(単位は万円)